

1 . 調 査 報 告 概 要 表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 1 9 年 1 1 月 2 1 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 2 4 0 2 1 2 5
法人名	社会福祉法人 美郷会
事業所名	グループホーム美郷
所在地	枚方市西招堤町 1 2 5 3 (電 話) 0 7 2 - 8 6 6 - 7 0 2 7
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 1 9 年 1 0 月 2 9 日

【情報提供票より】(平成 1 9 年 8 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 12 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 3 人, 非常勤 4 人, 常勤換算	7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	4 階建ての 1 階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	5 7, 7 5 0 円	その他の経費 (月額)	2 5, 0 0 0 円
敷 金	有 (円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食 円 昼食 円		
	夕食 円 おやつ 円		
	または 1 日当たり	2, 0 0 0 円	

(4) 利用者の概要 (平成 1 9 年 8 月 1 日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護 1	2 名	要介護 2	1 名		
要介護 3	4 名	要介護 4	1 名		
要介護 5	1 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 8 8 歳	最低	8 3 歳	最高	9 3 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤病院
---------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム、デイサービスセンター等に併設されたグループホームです。「住み慣れた街でゆったりと過ごしてもらいたい」という思いで創られました。敷地内に提携している医療法人の病院があり、医療面でのサポートにおいて安心できるホームです。グループホームは 1 階にあり、9 名が暮らしています。食事は、昼食夕食は併設厨房から届けてもらっていますが、朝食はホーム内で作っています。週 1 回は利用者の好みの献立になっており、食材の準備から調理まで利用者と一緒に楽しんでいます。また手作りのおやつを作る時もあります。2 年間で利用者の入退所もなく、落ち着いた暮らしを実現しています。家族にもアンケートを実施して情報収集し、今後の支援に役立てています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部 4) 外部評価については改善に向けて取り組んでいます。関連の病院や特別養護老人ホームもある広い敷地の中にあり、グループホームの入り口が分かりにくいという点については、玄関正面に大きく表示し、改善されていました。リビングに見やすいカレンダーをとという提案に対しては、利用者の制作した大きなカレンダーがかかっていました。 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部 4) 自己評価については、事務長、管理者、介護支援専門員が協議し、作成しています。サービス評価の意義や目的を全職員で共有するために、職員全員で話し合いの場を設け取り組むことが求められます。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部 4, 5, 6) 運営推進会議では、事業報告、活動内容報告、行事予定、その他利用者の日常生活の報告、月々で目標にしていることを議題にしています。委員からは地域の情報を得ており、盆踊り大会、おみこし、音楽セラピーなどがあります。また、自治会のコミュニティ祭りにも招待され、敬老席を用意してもらいました。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部 7, 8) 玄関脇に苦情箱を設置しています。家族の訪問時には声かけをして、苦情や意見、希望などを聞くようにしています。年 1 回家族会を開催し、また行事の時にも家族に参加してもらう機会があり、ゆっくりと話し合う場も作っています。家族アンケートも実施して、今後のグループホームのサービス向上に役立てています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部 3) 朝食のパンや飲み物を買いに近隣のスーパーへ出かけたり、また近所の公園にも散歩に行ったりします。その際に職員は名札を付けて、近隣の方々にホームを認知してもらえよう努力しています。近隣の保育園の運動会に参加したり、囲碁相手の友達が来訪してくれたり、小学生と年賀状のやり取りをしたりしています。

2. 調 査 報 告 書

(☐ 部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念として①一人ひとりの個性や生き方を尊重しその人らしい生活が送れるように支援します。②一緒に暮らし、支えあうことの楽しさを実感できるグループホームを作りあげます。③地域との繋がりを大切にしていきます。以上の3点をあげて、玄関に掲げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員が日常的に目にする場所に理念を掲示し、職員、利用者、家族にも浸透してきています。ミーティングや申し送りの際、理念に触れて確認しあっています。また、毎年その年度の目標を作って職員に浸透するよう取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	保育園児の訪問や、小学生との年賀状の交換、地区の夏祭りで神輿を見たり、ホームの夏祭りには家族や近隣の方も参加してもらったりしています。テラスも開放し、地域交流を図っています。中学生のボランティア訪問や実習生も受け入れています。		

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果については職員に報告し、具体的に検討を行い、改善に向けて取り組んでいます。しかし、自己評価については、一部の職員で検討している状況です。	○	サービス評価の意義や目的を全職員で共有するために、職員全員で自己評価に取り組むことが求められます。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の規定、規約を作成しています。また、会議録で出席者が確認でき、会議で得た意見をサービス向上に活かせるように努めています。また、事業所の取り組みの課題を職員間でも話し合っています。運営推進会議は月2回開催しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と連絡を取り合っています。地域包括支援センターが運営推進会議メンバーとして参加もしています。毎年大学生の福祉体験プログラムの受け入れを行っています。また介護相談員2名の方に、毎月1回ホームに訪問してもらえるようになりました。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	法人として毎月ふれあい誌「こでまり」を発行し、利用者の日常の様子を伝えています。また「陽だまり」を年3回発行し、グループホームのみの情報や行事、写真を載せています。家族会は年1回開催して多くの参加を得ており、交流の機会を作っています。金銭管理については毎月収支報告しています。また、面会時には日頃の様子を伝えています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームでは家族アンケートを実施しており、家族からの要望や希望を聞き、職員全員で話し合う機会を持っています。また玄関脇に意見箱を設置しています。家族の方から利用者が昔使っていたオルガンの寄贈があり、利用者自身や職員が弾いたりしてみんなで楽しんでいます。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努めています。新しい職員が入る時は業務マニュアルを作成し、ホームにスムーズになじめるように工夫しています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことであり、今後とも異動を最小限に抑えることが期待されます。法人たより「ふれあい誌」に新任職員の紹介と写真を掲載し、家族に報告しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修については毎月、法人内で勉強会を実施し、また2ヵ月毎にホーム内で勉強会を実施しており、欠席者には研修内容を回覧して共有しています。「感染症」「緊急時対応」については法人内で実施しています。外部研修への参加は、個人的には参加していますが、職員間で共有する資料や伝達研修が行われていない状況です。	○	内部研修は頻繁に開催し充実していますが、今後は年間2回以上の外部研修に参加することが求められます。また研修に参加できていない職員にも研修内容を共有するため、伝達研修を開催することが求められます。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域包括支援センターの支援もあって、近隣グループホーム6ヶ所の代表として交流会を開催しました。今後定例で開催し、講習会や職員の研修参加等、共通して取り組んでいきます。お互いのホーム見学会等も実施していく予定です。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が安心して利用できるよう、ホームでの生活に慣れるまで家族の方に頻繁に面会に来てもらっています。ホームでの生活のリズムをつかめるような支援や、気長に馴染みの関係を作っていけるよう働きかけています。また、自宅や入所施設を訪問して面接の機会を作るほか、見学してもらい、ホームでの生活に納得が得られるよう努めています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	お茶やお花を教えていた方には、抹茶を立ててもらったり、庭に咲いている花を生けてもらったりしています。編み物を教えていた方にはマフラーを編んでもらいました。縫い物ができる方にはぬいぐるみにハッピー等を作って楽しんでもらう等、利用者ができることを支えています。スポーツの詳しい方に、毎日試合の結果などを尋ねたり、政治経済について職員が教えてもらったりするなどの場面があります。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、利用者の希望や意向の把握に努めています。言葉や表情から読み取ったり、確認したりしています。意思疎通の困難な方には、家族や関係者から情報を得て、入居に至るまでの様子について記述があります。今後は、アセスメントシートを充実させ、職員間で情報を共有することが望まれます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全体会議に職員が参加して介護計画を作成しています。利用者や家族の意見を取り入れて反映させています。また、アセスメントシートも作成し、利用者の生活歴、ライフスタイルについても記載されており、望まれる生活を取り入れています。作成した介護計画について、利用者や家族による同意のサインを得ています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については3ヶ月から6ヶ月ごとに見直しを行っています。目標については、日々の記録や週ごとのミーティング、会議での話し合い、利用者の状態の変化や状況、家族や利用者の要望に応じて見直しています。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録や見直された介護計画書もあります。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同事業所内の看護ステーションと医療連携体制をとっており、緊急時の対応についての体制を整えています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者家族が希望するかかりつけ医を受診する機会があります。また、併設協力病院が敷地内にあって、医療連携が取れています。週1回の往診があります。また、提携の歯医者にも職員が受診に付き添っています。また、事業所内の看護師による支援もあります。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期や重度化した場合の対応については、医師、看護師、介護職員、家族と共に話し合い、意見を確認し方針を決定して、支援しています。今までに看取りの機会は有りませんが、必要時には、家族に説明を行います。またマニュアルも作成し、家族会の時に説明しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図るように、また、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。誇りやプライバシーには注意を払っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の日課は決まっていますが、利用者の日々の体調や希望に合わせ、できるだけ個別性に配慮した支援を行っています。読書や喫煙などの要望にも対応しています。利用者に合わせた排泄の支援を行っており、利用者の好みのトイレで排泄してもらっています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については、昼食夕食共併設の厨房から調理されたものを運び、盛り付けのみホームで行っています。朝食はホームで作っています。ごはんの日やパン食の時もあり、利用者と一緒にパンや食材を買っています。夕食のうち週1回は、好みの献立を取り入れて、メニューも考えて一緒に調理しています。焼肉、餃子、お好み焼き、麺類などが候補にあがり、喜ばれています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は希望により、何時でも入浴できる体制になっています。現在は朝風呂を好まれる方や1番風呂を希望する方が多く、トラブルが起きないように注意を払いながら、順番に入浴してもらっています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の新聞とりや、食事の盛り付け、食器洗い、朝ご飯の米とぎや、編物、縫い物、テレビ観戦、ベランダや玄関横のお花や菜園の水遣り、ボランティアによる囲碁対決を楽しんでもらう等、趣味を活かした場面作りを支援しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望により、スーパーに買物に出かけたり、近くのコンビニエンスストアに行ったり、毎日、身体の状態を見ながら、お庭での散歩を支援しています。特に外食はみんなに喜ばれています。朝食のパンや週1回の夕食材料の買物には一緒に出かけています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	門扉は施錠していますが、日中は玄関の鍵はかかっていません。チャイムで出入りを察知しています。デイルームにつづく扉は自由に出入りができ、新聞を取りに行ったり、ベランダより庭園に下りたりすることができます。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練、消火器の使い方、誘導方法、避難場所の指導を受け、マニュアルを作成し、職員は把握しています。ホーム独自の対策として、中庭に誘導する訓練を行いました。災害時の水や食糧の備蓄については、併設特養でも確保していますが、今後はホームでも備蓄を確保していく予定です。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事量や水分量はチェック表にて把握し、個人記録簿に記載しています。病気や体調面に配慮を必要とする方には、食事量にも配慮を行っています。水分が不足しがちな方には特に注意を払っています。月に1回管理栄養士と会議し、今後の献立や利用者からの希望や好みについて広く話し合っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	門から玄関までの間に。遊歩道もついて散歩ができるほどの広い庭園があり、季節の花木が植えてあります。居室は全室バリアフリーとなっており、廊下や必要箇所には手すりが設置されています。リビングは広く、テレビやソファがゆったりと配置されています。昔、利用者が弾いていたオルガンを家族が修理し、リビングに置かれていました。中庭には利用者自身で干せる洗濯物干場がありました。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内には洗面所とクローゼット、ベッドが用意されていました。自宅からはタンス、仏壇、テーブル、椅子、カレンダー、テレビ、写真等が持ち込まれ、各居室は個性豊かに飾られ、利用者に合った工夫がされています。抹茶茶碗を飾っている方や、利用者が好みの物を飾って落ち着ける雰囲気になっていました。		